

アン・サリー Ann Sally (本名:安 佐里)

1972年8月17日、名古屋市で開業していた小児科医の父のもとに生まれる。早くからブルースなどの歌唱に惹かれていた。父親と同じ医師の道を選び東京女子医科大学に進学するが、在学中も音楽活動を継続。卒業後に内科医として勤務を始めたのち、2001年にカバー曲を集めたアルバム『Voyage』でデビュー。その翌年、内科研修のためニューオーリンズに3年間留学、現地でもミュージシャンたちとライブ活動を行い、そこで出会ったトランペット奏者と結婚。現在も医師として勤務する傍らでコンスタントに音楽活動を続けており、NHK連続テレビ小説の挿入歌なども手がけている。ジャンルレスな音楽性と、ほころぶ花のように芳醇な歌声が聴く者の心を癒し魅了してやまない”シンガー・ソングライター・ドクター”。

1



O Barquinho (Voyage (2001)) '4:43'

デビュー・アルバムのトップを飾るボサノヴァ曲で、邦題は「小舟」。ボサノヴァのパイオニアでもあるブラジルの作曲家、ホベルト・メネスカルによる名曲。スローテンポでしっとりと歌うこの1曲目で、このアルバムそしてアン・サリーの魅力に心をつかまれてしまった人も多いのでは・・・。

2

記念すべきデビュー・アルバム。様々なジャンルとミュージシャンの10曲を収めたカバー曲集。

All I Want (Voyage (2001)) '4:37'

ジョニ・ミッチェルの最高傑作とも言われるアルバム『Blue』からの曲。1971年の曲を30年後の2001年にアン・サリーがデビュー・アルバムでカバー。彼女自信がジョニ・ミッチェルのこのアルバムを愛聴しているせいか、繊細な声質や歌唱表現は若き日のジョニ・ミッチェルを彷彿とさせる。

3



When You're Smiling (Brand-New Orleans (2005)) '3:38'

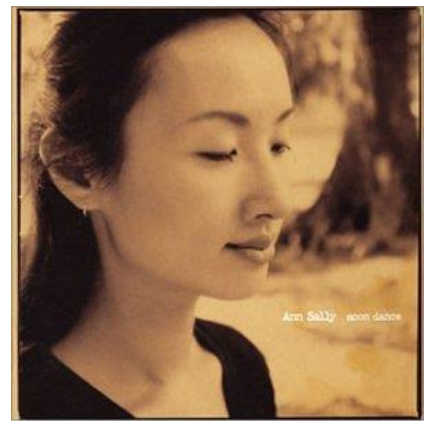
1928年に生まれたアメリカのポピュラーソングで、アン・サリーがニューオーリンズに来て知った中で一番好きな曲のひとつ。「あなたが微笑めば、世界中があなたとともに微笑む」というこの曲は、彼女が最も敬愛する地元歌手 ジャーメイン・バズルもライブの度に歌っていたそう。

4

初のセルフ・プロデュースによるアルバムで、留学先のニューオーリンズで知り合ったミュージシャンたちと現地で制作した作品。

What A Wonderful World (Brand-New Orleans (2005)) '5:15'

ゴッセル・アームストロングの名曲。アン・サリーが初めてニューオーリンズに降り立った時に空港で流れていた曲で、3年間の内科研修を終えて帰国の時には地元ミュージシャンと録音したこの曲を聴きながら飛び立ったという。飛行機の中からきらきら揺れるニューオーリンズの街の灯りを見ながら「さようなら、また会う日まで」と呟いたとか。

5		<u>Why Me So? (Bon Temps (2017)) '3:28'</u> アン・サリー作曲によるオリジナル曲。 今日の音友レコード・コンサートでお聴きいただくのは、季刊誌「アナログ vol.57」付録のアナログ・レコード(EP盤)。東京・池袋のSTUDIO Dedeで、日本で唯一現存するScullyのカッティングマシンを使い「フルアナログ」で制作された貴重な音源。
6	 フランス語で「良い時間」を表す7枚目のオリジナル・アルバム。書き下ろしの新曲の他、全国でライブ演奏されてきた未録音のレパートリーも収録されている。	<u>瀬戸の花嫁 (Bon Temps (2017)) '3:47'</u> 小柳ルミ子 1972年の大ヒット曲。 昭和を代表する歌の1つが、45年の時を経てアン・サリーの歌声で生まれ変わる。しっとりと歌い込む彼女の歌唱が郷愁を誘い、どこか懐かしい気持ちにさせてくれる。
7		いのちをみつめる暮らしのなかで、森羅万象を歌った「fo:rest」。 親密な仲間たちと綴られた音のタペストリー。オリジナル曲の他、ジョニ・ミッチェル、リンダ・ルイスから松田聖子まで、多彩な楽曲の中に等身大の「今」を映しこんだアルバム。 <u>ガラスの林檎 (fo:rest (2010)) '4:49'</u> 1983年に日本レコード大賞金賞を受賞した松田聖子14枚目のシングル曲。様々なジャンルの幅広い曲をカバーするアン・サリーだが、その対象としてアイドル歌手は異色。オリジナル曲を完全に彼女独特の世界に取り込み、芳醇で深みのある見事な作品に仕上げている。
8		2003年に「day dream」と同時発売されたアルバム「moon dance」。 ニール・ヤングからスティーヴィー・ワンダー、ケニー・ランキン、カエターノ・ヴェローゾ、そして「蘇州夜曲」まで収録された、ジャンルを超えた永遠のソング・ブック。 <u>蘇州夜曲 (moon dance (2003)) '4:47'</u> 数えきれないほど多くのシンガーたちにカバーされている、西條八十作詞、服部良一作曲による歌謡曲。 アコースティック・ギターとピアノによる美しいメロディーをバックに、静かに歌う。思わず目を閉じてじっくりと聴き入りたくなる、この上なく心癒される曲。
曲名 (収録アルバムタイトル(発売年)) '演奏時間'		